

ぼだい対夏

2014/8/1 発行
〒496 - 0851
津島市神明町 2
T 0567-25-4154
F 0567-25-4199

おせがきによせて

私たちは 誰にでも 親があり先祖があり、その遺伝子は 脈々と受け継がれて 今に至っています。時々 今日あったことが、以前にどこかで体験したように思うときがあります。先祖が出会ったことを 私達も 何処かに記憶しているのです。

神宮寺を今に残す為 努力した宝寿院住職宥三は 弟子の宥恵（住職宥宏の祖父）に全てを託して 性海寺の住職として 世を去りましたが、弘法大師空海の教えは 今神社の北側に、昔と変わることなく受け継がれて 池のお堀にはホタルが飛ぶ風景です。



仏教を開かれたお釈迦さまについて

★ **お釈迦様は八十二才の生涯の終わりを悟られ、クシナガラ**の沙羅の花咲き乱れる中に 身を横たえられました。

三十二才に正覚を得て 悟りを開かれた後 八十二才までインド諸国を行脚して 苦しみの中にある人々に教えを説き、悟りへと導いてくださいました。解脱とはこだわらない自分になる事、人のために生きる事を示して、最期に 金色に輝かれました。

この尊いお釈迦様のお姿を 私たちも心にとどめて 安らぎに満ちた毎日を送りたいものです。インドアジャンタ石窟の涅槃像に出逢って以来願いかなって 宝寿院の庭にお釈迦様は頭北面西に奉安しています。又一部納骨塔として末永く安置し、皆様のご要望にお応えしています。

宝寿院がある限り、お参りする方が毎日続き祈りを捧げていますよ。

四月八日 釈迦様の誕生を祝う花まつり。

十二月八日 お釈迦様のお悟の日 成道会

二月十五日 お釈迦様の最後 涅槃会

三行事は毎年十一時から開催しています。

お参りの方々が自由に参加されます

お施餓鬼予定表

八月二十四日(日) 於地藏堂

九時 水子供養 お参り終わった方から四十五分から客殿で法話を聞きながら

冷たいお茶やお菓子をどうぞ
十時の水子を申し込まれた方も早めにおいでください。 九時の部とおなじく 法話を聞きながらお茶会

十時半 水子供養

とうば・記念品を受け取ります。

十一時 住職挨拶法話 光明殿 施餓鬼壇

先祖供養法要

十二時 昼食 光明殿

注意 必ず受付をしてからお参りください。

日曜日の行事ですので、一般の参拝者と間違わないようにしてください。

★ 先祖供養を申込の方は

受付で、昼食券を

受け取ってください。

九月二十二日 二時

永代経